

バランスチェックシート

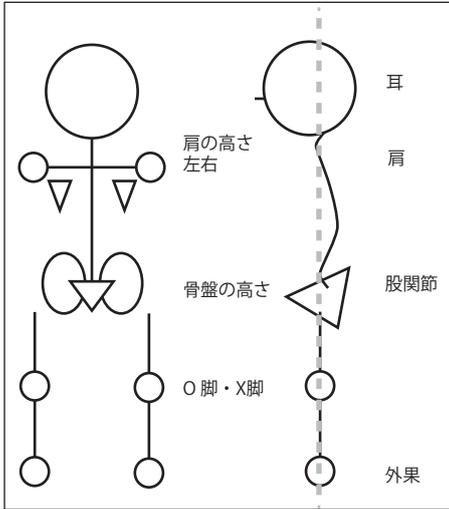
名前 _____

年 月 日 診目

立位検査

全身の姿勢のゆがみ

アキレス検査



肩挙上
 右 ○
 左 ○

腰部
 右 ()
 左 ()

膝部
 右 ()
 左 ()

動作痛

座位検査

機能・可動域検査

首の動き	左	右	
肩関節の動き	左	○ 右 ○	
肩甲骨の動き	左	右	
背骨の硬さ	上	中	下
骨盤の硬さ・歪み	左	右	
体幹回旋の動き	左	○ 右 ○	

筋力テスト

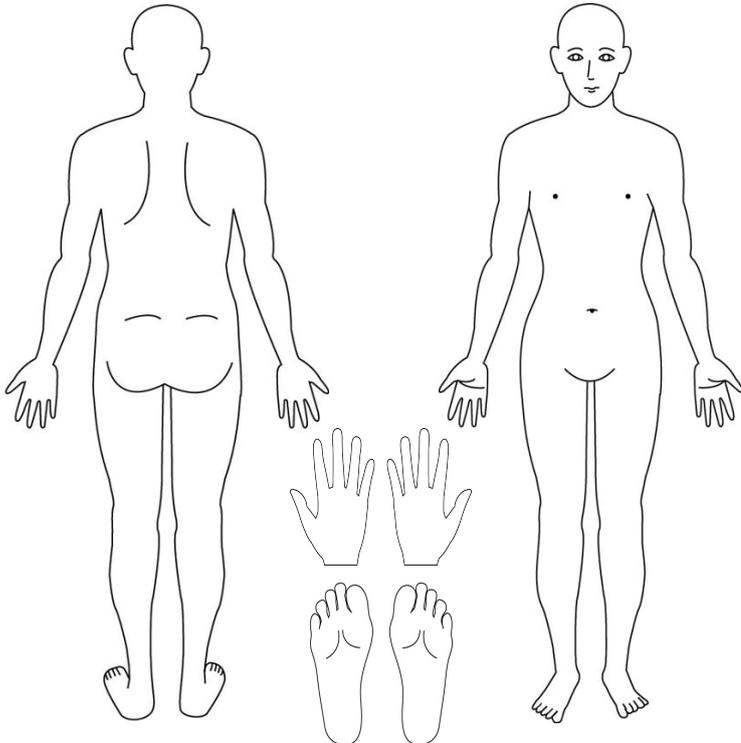
整形外科的テスト

仰向け検査・うつぶせ検査

トリガー検査 & ROM検査

筋力テスト

整形外科的テスト



その他メモ欄

バランスチェックシートの使い方

初診の検査時に必ず使用して、どこの問題があるのかを視覚的に分かるようにする。

その後は、決めたルールのもとで定期的を使用して治療計画どおりにしっかり改善していることの証明にする。

立位検査

全身の姿勢のゆがみ

- ・肩の高さや骨盤位置、ゴールデンラインを基準にして視覚的にゆがみがあるか確認

アキレス検査

- ・Aセラピー検査で重力問題があるか確認

動作痛

- ・主訴部の動作痛を確認、関連痛や放散痛がないか確認

例) 腰部痛⇒前屈、後屈、側屈、回旋時痛など

 肩部痛⇒挙上時痛(屈曲、伸展、外転)、回旋時痛など

座位検査

疲労回復全体の機能検査

- ・筋力テスト(三角筋など)
- ・整形外科的テスト

上半身:頸部、肩上部、肩関節、肘関節、手関節それぞれテストを適宜採用

仰向け検査

- ・機能検査
- ・ROM検査
- ・筋力テスト(大腰筋、大腿四頭筋など)
- ・整形外科的テスト(パトリック、SLRなど)

下半身:腰部、骨盤、股関節、膝、足首それぞれのテストを適宜採用

うつぶせ検査

- ・トリガーポイント(圧痛検査)

肩上部、肩甲間部、腰部、梨状筋部、ハムスト、ふくらはぎなど

- ・脊椎、肋骨のROM検査など

検査が終わったあと、この紙を見せながら

- ①患者さんの身体に起きている問題点 ⇒ 患者さんの主訴に絡めて説明する
- ②その問題点の根本原因 ⇒ 原因を明確にすることで治療院への期待が生まれる
- ③その問題は解決できることを断言する
⇒「治る」ことを保証することはできないが、「治る」という確信が持てない院に通院する理由はない。
- ④その治療にかかる期間
- ⑤その治療方法と全体の費用目安

この順番で治療前に説明することが大切。